

## 令和4年度第1回習志野市市民参加型補助金審査委員会議事録

1 開催日時 令和5年3月11日(土)午前9時~11時25分

2 開催場所 市役所3階大会議室

3 出席者

【委員長】 牧野 昌子

【委員】 齊藤 恵子

高岡 明美

松井 秀明

山野井 武

塚本 将明

【事務局】協働経済部 部長 根本 勇一

次長 小倉 一美

協働政策課 課長 河栗 太一

係長 柴野 夕子

主任主事 田村 大輔

【発表】 5団体10人

【傍聴者】 2人

【関係課】 6人

4 会議内容

第1 会議録の作成等

第2 会議録署名委員の指名

第3 審査 (1) 令和5年度習志野市市民参加型補助金二次審査について

5 会議資料 令和4年度第1回習志野市市民参加型補助金審査委員会に関する資料

※別添資料

会議次第

資料1 習志野市市民参加型補助金審査委員会スケジュール

資料2 令和5年度習志野市市民参加型補助金 申請事業一覧

資料3 令和5年度習志野市市民参加型補助金の採点について

資料4 市民参加型補助金 二次審査採点票【記入例】

参考 ・習志野市市民参加型補助金審査委員会設置要領

・習志野市市民参加型補助金審査委員会委員名簿

## 6 会議内容

### 第1 会議録の作成等

要点筆記とする。

### 第2 会議録署名委員の指名

山野井委員、塚本委員

### 第3 審査 (1) 令和5年度習志野市市民参加型補助金二次審査について

#### 【河栗協働政策課長】

資料1、資料2、資料3、資料4について説明。

※質疑なし

#### 【NPO 法人おりがみ】

申請事業「卓球バレー交流会」について説明。

#### 【高岡委員】

イベントの定員数、障がいのある人と健常者の割合、参加者の年代について、若者限定なのか伺う。

#### 【NPO 法人おりがみ】

障がいのある人と関わるのは学生ボランティアが中心、それをサポートするのはOBOGや福祉関係者である大人に協力をお願いしたいと考えている。

プラッツ習志野の収容人数にもよるが、50人程度であれば、障がいのある人と学生ボランティアが1対2、または2対3くらいかと考えている。

#### 【高岡委員】

卓球バレーセットを3セット購入すると3テーブルで同時に開催できるということか。また、卓球バレーのルール、得点について伺う。

#### 【NPO 法人おりがみ】

コロナ以前は1テーブルで12人程度。それより少なめで休憩しながら交流する仕掛けを考えている。

ルールはあるが、競技として取り組むわけではないので、臨機応変に楽しめるよう対応したい。

#### 【牧野委員長】

イベント終了後も若者のコミュニティに参加した障がいのある人たちと、どのようにつながっていくのかコツを伺いたい。また、どのようにしてコミュニティを維持するのか考えを聞かせていただきたい。

#### 【NPO 法人おりがみ】

現時点で、障がいのある人のネットワーク、プラットフォームがある。学生ボランティアのネットワークもある。そのネットワークにこまめに情報発信しながら、来年以降も卓球バレー交流会などを定期的に習志野市で開催していきたい。

【松井委員】

土日の余暇活動は需要があるが、制度外のため、そこを補完するとてもいいイベントである。知的障がいのある人も参加してよいのか。

【NPO 法人おりがみ】

今回の補助金事業としてはヘルパーを用意することはできない。ヘルパーと一緒に参加いただければどなたでも参加いただきたい。当団体では、学生ボランティアと医療的ケアを要する障がいのある人との交流実績もある。

【山野井委員】

補助金がなくなってからの事業継続の費用についてどのように考えているのか伺う。

【NPO 法人おりがみ】

卓球バレーセットがあれば、あとは施設の利用料だけである。参加費または寄付金を募る等、いろいろなやり方を考えている。費用としては、5 千円から 1 万円で可能であることから、継続可能と考えている。

【塚本委員】

400 人前後は関係人口が増える見込みとしているが、根拠を伺う。

【NPO 法人おりがみ】

学生ボランティアのネットワークが300~400 人、障がいのある人のネットワークが50~100人。習志野に関係がなかった人が習志野市で活動することで習志野市を好きになる人が増えると考えている。

【塚本委員】

増やしたいという希望の数字ということでよいか。

【NPO 法人おりがみ】

はい。認知数と考えている。

【塚本委員】

卓球バレーを知らない人が多い。習志野市で1回開催しただけでは認知されない。継続するためにどのような考えをお持ちか伺う。

【NPO 法人おりがみ】

長期的な展開はまだ考えていない。検討し、見通しを報告させていただく。

【うたごえ広場青空】

申請事業「習志野市民が気軽に音楽活動に参加できる参加型音楽事業の開催」について説明。

【齊藤委員】

これまでもプラッツ習志野で「うたごえ広場」を開催しているが、開催場所を増やすことや各地域での開催は考えていないのか。

【うたごえ広場青空】

プラッツ以外での参加者が見込めないので、今年度は実務で1回開催してみようと考えている。

【牧野委員長】

昨年何回も開催しているが、今回の補助金では備品の購入が大きい。これまでの活動で備品は使っていないのか。

【うたごえ広場青空】

現在は借りたものや個人のものを使用している。

アンプについては、演奏楽器が増えたことから使えない。購入しなければ大きく事業展開ができない。

【牧野委員長】

収支計画書にハガキ 100 通とあるが、誰に送るのか伺う。

【うたごえ広場青空】

これまで参加した人に継続的に参加いただくため、案内を送る予定。

【高岡委員】

過去に参加した人にハガキを送るということは、新しい参加者はいないのか。

【うたごえ広場青空】

アンケートをとっているが、友だちの紹介、プラッツ習志野に設置のチラシを見たという人が多い。参加者を増やす努力はしているが、高齢の参加者は徒歩圏内が多いことから、他地域に広報活動をして効果があるかと考えている。そのため実務で試験的に開催を予定している。

【earth FUNTRY!】

申請事業「レッツトライ!サステナブル!歌とダンスで楽しく考える SDGs」について説明。

【山野井委員】

昨年度の申請が不採択となってこの1年間に補助金がなくて、できなかったこと、補助金がなくてもできたことを教えていただきたい。

【earth FUNTRY!】

費用をかけなくてもできたことは、子どもたちの委員会活動。歌や環境クイズをやりながら関心を持ってもらうことに取り組んだ。子どもたちにごみの多い場所を調べてもらいマッピングし、ごみ拾いをした。費用がかかるので、ごみ袋と tong は用意できなかった。危険なごみもあるので、やはり tong や軍手はどうしても必要だと感じた。

谷津干潟のワークショップはレンジャーの協力が必要であるし、講演会や自主上映会の開催も費用がかかるので、開催できなかった。上映費用は 200 ドルもかかるのだが、とてもいいものなので、ぜひ見て欲しいと考えている。

【松井委員】

会員は6人とのことだが、予定している事業が多く、スケジュールがタイトなので、協力者がいないと大変ではないのか。

【earth FUNTRY!】

会員以外にも PTA 等に協力を求めるつもりである。また、ボランティアとして参加してもらうことも考えている。会員で実施できると考えているが、ごみ拾いについては、子どもたちはもちろん、子どもたちに手紙を書いてもらい、参加者を募る予定である。

【牧野委員長】

こんなに事業ができるのか心配である。計画的に取り組んでほしい。予算のことだけではなく、会員を増やす努力もしていただきたい。

【習志野市 e-sports 協会】

申請事業「e-sports×シニア ～楽しみながら健康に～」について説明。

【松井委員】

どういったことをどのくらいの人数でやるのか伺う。

ひきこもっている人が外出するきっかけになる。交流を図ることをイメージしていたのだが、実施場所ではその施設に通っている人を対象に交流を図るとのことなのか。

【習志野市 e-sports 協会】

施設に通う人の交流もあるが、施設周辺の人にチラシやポスターで周知し、外出機会が減っている人にも施設にお越しいただく仕掛けを考えている。

1回10人程度を予定しているが、開催場所に応じ、機材を用意、千葉県eスポーツ連盟とも協働で参加人数を増やしたりできると考えている。

【松井委員】

eスポーツの内容について伺う。

【習志野市 e-sports 協会】

レーシングゲームやリズムゲームを活用し、まずはeスポーツを体験していただく。

これらをeスポーツの入口として活用している自治体も多い。運転や太鼓という日常とあまり変わらない動作であれば、eスポーツのハードルを下げ、まずは楽しんでいただけるのではないかと。

【塚本委員】

社会福祉協議会と協働で事業を進めるとあるが、どのようなことを考えているのか伺う。また、地元だけで実施するのか、市内全域で実施するのか伺う。

【習志野市 e-sports 協会】

支部の協力をいただきながら、各地域で実施したい。サロン等でも交流の新たなツールとして取り入れたい。地元はもちろん、各支部に声を掛け、要望のあるところで体験教室を実施したいと考えている。

【齊藤委員】

手軽に体験できるというが、講師謝礼は1回あたり3万円もかかるので、そのような高度なものなのか。

【習志野市 e-sports 協会】

高齢者に楽しんでいただくために、教える人数もある程度は必要であるし、備品を持参いただくこともある。

【牧野委員長】

1回の参加者が10人で講師謝礼が3万円というのは費用対効果としてはいかがなものか。どのような方が講師なのか。資格は必要なのか。

【習志野市 e-sports 協会】

健康ゲーム指導士という民間ではあるが有資格者をお願いする予定。コントローラー、ソフト等を準備すると1回あたり20万円程度かかることもある。機器を持参いただいてノウハウも提供いただくことから3万円は妥当だと考えている。

【きらっといっぼの会】

申請事業「障がいのある人もない人もいっしょにきらっど!大作戦」について説明。

【松井委員】

未就学のお子さんがある保護者は、現実を受け止めきれないということだが、そのためにも今後はどのような啓発を予定しているのか伺う。

【きらっといっぼの会】

受け止めきれない保護者が心を閉ざさないような取り組みが必要だと考えている。私たちの団体はポスター掲出に力をいれている。時間はかかるが、街にあるポスターを目にすることで、徐々に受け入れてもらうことがよいのではないかと考えている。

【牧野委員長】

交流の場、寄り添い活動が一番大事だと思うのだが、未就学の発達障がいをお持ちのお子さんがある保護者、悩んでいる人がサロンに行けるような工夫をしていただきたい。

【きらっといっぼの会】

サロンを立ち上げて、受け止めきれない人もいるので、悩んでいる方を巻き込めるよう、経験者として考えていきたい。